



横浜開港資料館 夏の特別公開の お知らせ

7/13(土)
～28(日)
修復後実物
初公開

2024年はペリー提督が横浜に上陸し、日米和親条約を締結してから170年の節目の年です。当館は1981年の開館以来、ペリー提督関連の資料を収集・所蔵してきました。中庭の「たまくすの木」や隣接する開港広場には「日米和親条約締結の地」といった史跡もあります。

なかでも、ハイネ原画（石版画）の「ペリー提督・将兵の横浜上陸図」は歴史の教科書にも記載され、「たまくすの木」とともに多くの人の目に触れられてきた横浜開港を後世に伝える貴重な資料です。今回はペリー横浜来航170年を記念して、2016年の修復後初めて実物を公開いたします。

ペリー提督の横浜来航が歴史の転換点であり、横浜開港の出発点となったことを多くの人に知っていただく機会になれば幸いです。



ペリー提督・将兵の横浜上陸図
(当館所蔵)

「ペリー提督・将兵の横浜上陸図」の実物展示は、当館特別公開では7/13～7/28となります。それ以降は、横浜市歴史博物館企画展「サムライ Meets ペリー With 黒船」出陣のため、パネル展示となりますので、あらかじめご了承ください。

ペリー横浜来航170年 特別公開 「横浜とペリー提督とのつながり」

「横浜上陸図」ほか関連資料展示

2024年7月13日(土)～9月1日(日)

会場：横浜開港資料館 企画展示室 開館時間：9：30～17：00(入館は16：30まで)

入館料：一般400円／小・中学生および横浜市内在住の65歳以上の方200円

休館日：毎週月曜日(ただし、7月15日(月)と8月12日(月)は開館し翌日休館)



クラウドファンディング挑戦中！ ご支援をお願いします。

横浜開港の歴史「たまくすの木」に憩うバリアフリーデッキを作りたい！

受付期間：2024年5月21日～7月19日 右のQRコードからご支援頂けます。



横浜開港資料館
YOKOHAMA ARCHIVES OF HISTORY

〒231-0021 横浜市中区日本大通3
Tel. 045-201-2100 Fax. 045-201-2102
<http://www.kaikou.city.yokohama.jp/>





横浜開港資料館 秋の特別展 開催のお知らせ

2024年秋
開催決定

初公開資料
文久遣欧使節肖像写真（当館所蔵）
前列中央は外国奉行・神奈川奉行をつとめた松平康直、
後列右は森山多吉郎。



日米和親条約 170 周年記念特別展 外国奉行と神奈川奉行 —近代外交のルーツを探る— [仮称]

2024年9月21日(土) ~ 11月24日(日)

前期「外国奉行—幕末の外交組織とは」展：9月21日(土) ~ 10月20日(日)

後期「神奈川奉行—開港都市を治める」展：10月26日(土) ~ 11月24日(日)

※10月22日(火) ~ 10月25日(金)は展示替えのため特別展はご覧いただけません。

主催：公益財団法人 横浜市ふるさと歴史財団

会場：横浜開港資料館 企画展示室 開館時間：9：30 ~ 17：00(入館は16：30まで)

入館料(各期)：一般500円/小・中学生および横浜市内在住の65歳以上の方250円

休館日：毎週月曜日(ただし月曜日が祝日の場合は翌火曜)

今年(2024年)は、安政元年(1854)に横浜で日米和親条約が結ばれてから170周年にあたります。同条約の締結によって、日本は欧米諸国と恒常的に「外交」をおこなう必要に迫られ、幕府は安政5年(1858)外国奉行(外国方)を創設します。一方、開港された横浜には神奈川奉行が置かれ、外国貿易の管理と横浜周辺の行政を担当することになりました。

外国奉行は外務省、神奈川奉行は神奈川県の前身にあたりますが、これまでこの二つの機関の研究・展示は、あまりおこなわれてきませんでした。今回の展示では外国奉行・神奈川奉行の実態を明らかにするとともに、近代の日本外交のルーツを探ります。

初公開資料
初代駐日米国総領事
タウンゼント・ハリス
肖像写真(当館所蔵)

